

イバカリプ チロンヌブ (狐の妖怪)

大人の部 (口承文芸部門) 門別こずえと吉村圭一郎

nispa utar
ニシパ ウタラ

紳士の皆様

kakkemat utar
カッケマツ ウタラ

淑女の皆様

isorore
イッシヨロレ

こんにちは

monbetsu kozue ari ku=rehe an
門別こずえ アリ クレヘ アン

門別こずえと申します

tanto anakne
タント アナクネ

今日は

ainonaikotan un huci
アイノナイコタン ウン フチ

相内コタンのフチが語った

ye sakorope
イエ サコロペ

サコロペを

ku=ye kusune na
クイエ クスネ ナ

語りますよ

eyorerope
エヨレロペ

あるところに住んでいた

epanekusu
エパネクス

okayanike
オカイアンイケ

私の兄は、自分の家で酒を作りました

ankamuyyupi
アンカムイユピ

unciseta
ウンチセタ

tonotokarakiwa
トノトカラキワ

tonotosisakko
トノトシサクコ

出来上がった酒を濾して、出来具合を見ました

tonotoinumukiwa
トノトイヌウムキワ

tonotoappa
トノトアッパ

iyanketonoto
イヤンケ トノト

出来上がった酒は

eponturano
エポントウラノ

少ないけれど、

anaunciseta
アナウンチセタ

私達の家で神々にお神酒を捧げました

ikoinomi
イコイノミ

enekukiwa
エネクキワ

anaunciseta
アナウンチセタ

私達の家で

maktarokkamuy
マクタロクカムイ

上座に座っている神、その次の神、フチの神に

anarekamuy
アナレカムイ

anarehuci
アナレフチ

cikoinomi
チコイノミ

お神酒を捧げて拝み、お酒を飲みました

anekarkarkiwa
アネカラカラキワ

ikuanoka
イクアンオカ

neywaanita
ネイワアンイタ

ankamuyyupi
アンカムイユピ

私の尊敬する兄と

iturakiwa
イトウラキワ

一緒に飲みました

newaneanita
ネワネアンイタ

その時に色々と

ayeankiwa
アイェアンキワ

ikoankina ape
イコアンキナ アペ

語らいながら

aye ankikor
アイェアンキコロ

話し合っていると、誰が飲む酒であるのか
誰に飲ませる酒なのか、さっぱりわけが分から
なくなりました

inenkukuni
イネンククニ

tonoto ineruweneya
トノト イネルウェネヤ

erampetek
エラムペテク

cikosotessam
チコソテッサム

自分達の座る席の傍に金の酒桶を並べながら
火の女神の傍で丁重に頂きました

kanisintoko
カニシントコ

aneroskire
アネロシキレ

enoankikiwa
エノアンキキワ

apehucitessam
アペフチテッサム

aneorar
アネオラリ

ankamuyyupi
アンカムイユピ

私の尊敬する兄も、金の酒桶や、火の女神の傍
に立ち並んでいる酒桶の傍らに居ました

kanisintoko
カニシントコ

apehucitessam
アペフチテッサム

oasisinntoko
オアシントコ

sintokoseremak
シントコセレマク

ankamuyyupi
アンカムイユピ

ukorkosmat
ウコロコシマツ

其処に居た兄嫁の本当の顔かたちが、さっぱり
わからなくなりました。
兄嫁の顔の上の方から出ている光は、月の明か
りのようでもあり、稲妻の光のようでもありま
す。

sinonankasi
シノナンカシ

koerampetek
コエラムペテク

ananukaskewa
アナヌカシケワ

etukcupki
エトウクチュプキ

etukimeru
エトウクイメル

nesirneya
ネシリネヤ

netopakewa
ネトパケワ

etukimeru
エトウクイメル

nesirneya
ネシリネヤ

koerampetek
コエラムペテク

taankotcasi
タアンコッチャシ

casitumotta
チャシトウムオッタ

orewkeimeru
オレウケイメル

eneruweneya
エネルウェネヤ

komeritanke
コメリタンケ

nepnekusu
ネヅネクス

menokokamuy
メノコカムイ

sinonankasi
シノナンカシ

koerampetek
コエラムペテク

arihawkikane
アリハウキカネ

ukoankina
ウコアンキナ

tasirikikane
タシリキカネ

urespaekasi
ウレシパエカシ

apasakno
アパサクノ

urespaankane
ウレシパアンカネ

orwaepakiki
オロワエパキキ

asirka
アシリカ

その光が頭から出ているものなのか、どこから出ているものなのかさっぱりわかりません。

ここの私の屋敷に光が反射して跳ね返ってきたせいでしょうか。それとも、兄嫁の出している光なのか、よくわかりません。

兄嫁の顔形からすると人間なのか、妖精なのか、見分けが付きません。

私はさっぱりわからなくなったよ、と言い一緒に居ました。

兄は酷い暮らしをしていたので祈りました。

家に扉が無いような本当に酷い暮らしをしていたのです。

そして、いつかは新しい自分の家を建てて、古い家は捨ててしまい、休もうと思っていました。

aunciseta
アウンチセタ

auncasi
アウンチャシ

akoocippawa
アコオチッパワ

sinianthane
シニアンカネ

sirkiayke
シリキアイケ

それなのに、いつになったら新しい家は出来る
のでしょうか。

nenpak
ネンパク

ankamuyyupi
アンカムイユピ

私の尊敬する兄は、酒を作って、お神酒を丁重
に捧げました。

tonotokarawa
トノトカラワ

cikoinomi
チコイノミ

ekarkar
エカラカラ

neankocasi
ネアンコッチャシ

私の屋敷で、お神酒を捧げました。

cikoinomi
チコイノミ

tanto anakne
タント アナクネ

今日は

pakno ku=ye na
パクノ クイエ ナ

ここまで語ります

iyayraykere
イヤイライケレ

ありがとうございました

出典：吉村家の曾祖母による残存テープより。原稿化にあたり以下の書籍を参考引用した。
白糠町、貫塩喜蔵『アイヌ叙事詩サコロペ(テープ付)SAKOROPE(狐の妖怪)』(1978)